

「研究雑感」

京都大学教授 中辻 博

研究生活の中で、折につけ思うこと。

1. Originality の高い研究を。
 - ・ 創造とは一から作ること。
 - ・ 自分の考えや感じ方、疑問、空想にこだわって、自分なりの答えを作りあげてゆこう。
 - ・ 想像は創造の力であり、感性は想像の源流である。
 - ・ 美へのあこがれ、個へのこだわり。
 - ・ simpleにideaほど大きい。
 - ・ 不可能を可能にしてこそ研究。
 - ・ 美しいものを識る目を育ててゆきたい。
 - ・ 最初は理解されないことも往々にしてある。気長に。

2. Impact のある研究を。
 - ・ その分野をリードする研究と言った方がよいかも知れない。
 - ・ 時流に乗ることとOriginality とは違う。

3. 何年生きる研究か。
 - ・ 何年もかかって一年ももたない研究の多いこと。
 - ・ きちっとまとめてからゴミ箱へ捨てるのも一法。

4. Chemistry：現象から遊離しない。
 - ・ 新しいChemistryを拓けたら最高。

5. 自由な発想：研究室の根幹。
 - ・ これを刺激し育てたい。
 - ・ 徒弟労働では本当の研究は生まれない。

6. 概念を作る。
 - ・ よい研究者は皆んな理論家を目指している。

7. 度の強い色めがねをかけて
 - ・ 赤子の目では何も見えない。

8. 大きな研究・小さな研究・なくてもよい研究。
 - ・ 知的満足：一服の清涼剤・有用性に欠ける。
 - ・ 大きな対象が見えてくるような有用性。
 - ・ 複雑な対象がそれによって急にすっきりしてしまうような理論。

9. 基礎的であるほど応用性は拡く野心的。

10. 工学は理解に止まらない。創ることが要求される。

11. 比較しない。一番・二番は小さい。いずれどんぐりの背比べ。

12. 論理学：若いときに数学を勉強するのが一番。

13. 音楽：作曲家－演奏家－聴衆－批評家、どれがいい？
 - ・ 曲目、軽い曲も重厚な曲もある。

14. 師を選べ。
 - ・ 反面教師もある。

15. 友と理想を語れ。

16. 人間性を磨け：長い研究生活、これがなければ成功は覚束ない。

17. 研究の世界は努力すれば報われるという世界ではない。
 - ・ 良い研究には遊びのセンスも必要。

18. 楽しんで：enjoy yourself。